

里仁第四

子曰、古者言之不出、
恥躬之不逮也。

子曰わく、いにしえ げん い
古、言を出ださざるは、
み およ は
躬の逮ばざるを恥ずればなり。

(4-88)

<子曰わく、古、言を出ださざるは>

Q：「子曰わく、古、言を出ださざるは」とは何ですか。

A：(1)「孔子が言った。古の人が、軽々しく言葉を口に出さなかったのは」の意。

(2)「昔の人が軽々しく言葉を出さなかったのは」の意。

<躬の逮ばざるを恥ずればなり>

Q：「躬の逮ばざるを恥ずればなり」とは何ですか。

A：(1)「自分の行為が、言葉におよばないことを恥じとしたからである」の意。

(2)「自分の実行が言葉に伴わないのをおそれたのである」の意。

(3)昔の人にも饒舌家もあり、寡黙の人もあった。君子のみ言行一致を旨として言葉を慎んだ。

2011年6月16日林明夫記